

身近に始めるSDGs

～Think globally, act locally, change personally～

氏名：森崎 将彦
担当教科：外国語（英語）
時間数：全4時間

学校名：広島県立瀬戸田高等学校
実践教科：ライフプラン(LP) I (総合的な学習の時間)
対象学年：第1学年
人数：30名（男子23名、女子7名）

【1】単元のテーマ・目標

- ・スリランカの基本情報を知る。
- ・スリランカを知ることを通して、異国に興味を持つ。
- ・日本が支援国としての側面と被援助国としての側面を持っていることを知る。
- ・国連が定めた「持続可能な開発目標」（以後SDGs）について、それぞれの目標内容を知る。
- ・持続可能な開発のために、自分たちにできることを考える。
- ・持続可能な開発のために考えた自分たちにできることをもとにして、実際に行動する。
- ・学んだ内容を生かして、世界の中で生きている日本人の「私」が今できること・すべきことを考える。

【2】単元の評価規準例

(ア) 関心・意欲・態度	<ul style="list-style-type: none">①<個人>積極的に活動に取り組んでいる。②<個人>異国について関心を持っている。③<協働>ペアワーク・グループ活動において、自分から主体的に協力して取り組んでいる。または、与えられた役割に真摯に取り組んでいる。④<協働>グループのメンバーとともに、創造的に問題の解決策を考えている。
(イ) 思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none">①先進国と発展途上国の違いについて、日本とスリランカを比較することで考えることができる。②学んだ内容をもとにして、問題解決に向けて思考できる。③自分自身について、学んだことをもとにして、多角的に捉えることができる。
(ウ) 技能	<ul style="list-style-type: none">①<コミュニケーション能力> ペアワーク・グループ活動において、自分の考えを聞き手に伝えることができる。②<課題発見・課題解決能力> 課題を発見、もしくは設定することができる。また、その課題を学んだことをもとに解決することができる。
(エ) 知識・理解	<ul style="list-style-type: none">①スリランカの言語・地理・文化などの基本情報を知っている。②発展途上国と先進国の違いを知っている。③SDGsのそれぞれの目標内容を知っている。

【3】 単元設定の理由

<生徒観>

第1学年30名（男子23名女子7名）を対象にしている。総合的な学習の時間について、1学期からコミュニケーション能力、課題発見・課題解決能力を高めるための活動を行っており、それぞれの活動に積極的に取り組む様子が見られる。一方で、ペア活動やグループ活動に協働的に取り組むことについては課題としている生徒が多く、引き続き重点的に指導しているところである。また、自分の興味・関心のない内容については学習意欲が湧かない生徒もあり、どのようにして学ぶ内容を「自分ごと」と捉えさせるか試行錯誤しながら指導している。

本実践について、生徒がどの程度スリランカのことを知っているのか、国際協力についてどのように考えているのかという生徒のレディネスは明確にはなっていない。そこで、本実践前に開発教育（国際教育／国際理解教育）に関するアンケートを実施した。スリランカの基本情報について、国名を聞いたことがある生徒は約80%であったが、スリランカの正しい国旗を答えることが出来た生徒は35%、スリランカの場所を正確に答えた生徒は11%、スリランカの特産品を答えることができた生徒は0%であった。これらの結果より、生徒のスリランカに関する知識は非常に低いことが分かる。

また、開発教育に関するアンケートにおいて、「世界中の人々は、お互いに助け合うべきだと思う」という質問項目に対して自分の考えが「当てはまる」または「よく当てはまる」という肯定的な回答をした生徒は全体の81%であり、国際協力の必要性を感じている生徒は多かった。しかしながら、中学校時代に国際協力について学んだ事がある生徒の割合は8%であり非常に少ない。また、高等学校においても世界の国々について考える機会は今までないという現状があった。さらに、「SDGsという言葉聞いたことがある」という質問項目に対して「はい」と答えた生徒の割合は0%であることから、生徒は国際協力に関する知識を、まずは知ることが課題であると考えられた。

<教材観>

本単元は、「開発教育」と「持続可能な社会づくり」に貢献できる生徒の育成を目的としている。スリランカという未知の国についてクイズ形式で学ぶことを通して、日本とは違う異文化があることを知る。また、スリランカが持っている発展途上国としての一面を日本と対比しながら学ぶことで、自分たちの生活の豊かさやそれが世界で平等にあるわけではないことに気が付かせたい。また、発展途上国と先進国の違いを「貿易ゲーム」を通して擬似的に体験することで、世界が良くも悪くも相互に関連しあっていること、自分たちの行動が小さくとも世界に影響があることに気づいて欲しい。

さらに、「貿易ゲーム」の振り返りを詳細に行うことを通して、国際社会が一体となって2030年までに達成を目指すべき目標であるSDGsがあることを知る。まずは17の目標があることとその内容を確実に生徒に学ばせたい。また、知識としてただSDGsを知るだけにとどまらないよう、身近で自分たちが行動できることについてフォトランゲージやディスカッションを通して話し合い、実際に目標達成のために行動している「自分」のイメージを膨らませることを目指す。



<指導観>

指導にあたっては次のような工夫をする。

- ① 様々な価値観に触れるため、グループでの活動を主とする。
- ② 世界が相互に関連していることを体験的に理解するために、「貿易ゲーム」を用いる。
- ③ まずは体験してから考えるという趣旨で、「貿易ゲーム」は全4時間の実践の序盤で実施する。そこで体験したことを詳細に振り返りながら、世界が相互に関連していることを考えられるようにする。
- ④ 「貿易ゲーム」において、生徒が実際の社会の動きをより感じることができるよう、ゲームの途中で製品の買取価格を下げたり、途上国で新たな資源が発見されたりするなどの新しい要因を取り入れる。
- ⑤ 「貿易ゲーム」が終わったあと、感じたことや考えたことをクラス全体で共有することで、生徒が世界の人々が感じている不平等や不満に気づけるようにする。
- ⑥ 生徒が国際協力を「自分ごと」として捉えられるように、援助国としての日本と被援助国としての日本の画像や動画を利用して関心を高める。

- ⑦ SDGs導入の際には、一方向の学習活動にならないようまずは全体で活動的に動き、そのあとのグループ活動において、全員が各アイコンとその説明に目を通せるようにする。
- ⑧ 身近に存在するSDGsに関連している事に気づかせるため、クラス全体でフォトランゲージを行う。また、適時ディスカッションを織り交ぜることで多角的に物事を見ることができるようになる。

【4】展開計画（全8時間）

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
事前	<p>「世界へ目を向けよう」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界の国々について、興味を持つ ・【教師】国際協力に関する生徒のレディネスを把握する 	<p>(1) 簡単なクイズにグループで答えることを通して、国際社会に興味を持つ</p> <p><クイズの例></p> <ul style="list-style-type: none"> ・世界には全部でいくつ国があるか？ ・世界で一番小さい国はどこか？ ・日本人が多く訪問している国はどこか？ ・日本への入国者の多い国はどこか？ ・平均寿命の長い国はどこか？ ・知っている国名をできるだけたくさん挙げよ などなど <p>(2) 全4時間で学ぶ内容、世界について学ぶ意義をクラス全体で共有する</p> <p>(3) 開発教育(国際教育/国際理解教育)に関するアンケートに答える</p> <p>(4) 次時の授業の内容を知る</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地球儀 ・国際社会に関するクイズ ・開発教育に関するアンケート(Pre) <p>【資料1】</p>
1	<p>「スリランカってどんな国？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発展途上国の代表例として、スリランカの基礎情報を知る 	<p>(1) 本時の目標と学習内容を知る</p> <p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・スリランカに親しもう ・世界がお互いに関わりながら存在していることを体験しよう <p>(2) 教員が今夏に訪れたスリランカのことについて、クラスで知っていることを出し合い、スリランカ自体に興味を向ける</p> <p>(3) クイズとスリランカボックスを組み合わせた“Quiz de Sri Lanka”を通してスリランカの基礎情報を体験的に知る。知った情報はメモ用紙に記録する</p> <p>★文化・食べ物・言語/生活・スリランカで出会った○○</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>グループで問題に取り組みます</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>サロンはどうやって着るの!?</p> </div> </div> <p>(4) 次時の「貿易ゲーム」のルールについて確認する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・スライド資料 <p>【資料2】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホワイトボード ・ホワイトボードマーカー ・スリランカの国旗 ・仏教旗 ・スリランカの世界遺産の写真 ・午後の紅茶 ・ココナッツ製品 ・象の糞ペーパー ・ジャヤワルダナ氏に関する動画 ・スリランカで収集した写真や動画

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
2	<p>「自分さえ良ければ良いのか!? 世界がお互いに関わりながら存在していることを体験しよう。」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易ゲームを通して、世界が相互に関連していることを体験的に学ぶ。 	<p>(1) 「貿易ゲーム」のルールについて再確認する</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">～ルール～</p> <p>○班の人と協力して、できるだけたくさんのお金を稼いでください。</p> <p>○世界銀行（赤石支店・丸山支店）が製品の品質を見極めてお金を支払って買い取ります。</p> <p>○世界銀行が決めた値段に文句は言えません。</p> <p>○他のグループと協力したり交渉したりすることは自由です。</p> <p>○グループ内で効率的に動いてお金を稼いでください。</p> <p>○ベルが鳴ったら、国連からのお知らせがあるので作業をやめて注目してください。</p> </div> <p>(2) 各グループ内で相談しながら、製品の製作を進める出来上がった製品については、世界銀行へ売る</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">貿易ゲームのフロー</p> <p>00:00 スタート</p> <p>12:00 【10cm:15cm】の長方形供給過多により2,000円→1,000円へ減額</p> <p>14:00 D班へ最新技術のカッターを支給</p> <p>16:00 +1,000円のシールをA班へ</p> <p>16:00 シール情報をE班へ</p> <p>19:00 【15cm:15cm:15cm】の正三角形の値段を3,000円→5,000円</p> <p>20:00 B班の分度器がなくなる→補償として、国連からB班へ紙を6枚追加</p> <p>21:00 F班へ世界銀行の情報を支給</p> <p>22:00 B班へ青い紙を6枚支給</p> <p>22:50 B班へ青い紙の情報を支給</p> <p>25:00 丸山銀行休止</p> <p>26:00 直径【10cm】の半円供給過多のため2,000円→1,000円へ減額</p> <p>25:00 国内に誰もいなくなったということで、B班に制裁金5,000円</p> <p>27:22 ゴミ税金を最大20,000円取ることを伝える</p> <p>28:33 丸山銀行再開</p> <p>28:57 【15cm:15cm:15cm】の正三角形の値段を5,000円→6,000円</p> <p>31:00 E班へ赤い紙の情報と赤い紙を支給</p> <p>32:30 終了</p> <p><終了後、ゴミの量に応じて最大20,000円の処理台を支払う。></p> </div> <p>(3) 集計結果を報告し、勝利国を決める</p> <p>(4) A～Fの国が現実世界ではどこの国を表しているかを根拠とともに考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループで話し合う ・自分の班が、現実社会ではどの国を表しているかについて、最初に配られた封筒の中身や、班員の数などを根拠にして考える <p>(5) 「貿易ゲーム」を通して感じたことや気づいたことを班で共有し、その後クラスで共有する</p> <p>(6) 振り返ったことを自分の言葉で記述する</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貿易ゲームのルール ・貿易ゲームのグループ分け ・グループの数分の封筒(中身異なる) <p>【資料3】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・振り返りシート

時	テーマ・ねらい	活動・内容	使用教材
3 本時	「全世界共通目標SDGs」 ・前時の振り返りを通して、世界の不平等さを改めて把握する ・全世界共通で、2030年までの達成を目指すSDGsというゴールがあることを学ぶ	(1) 本時の目標と学習内容を知る (2) スリランカに関する基本情報について振り返る (3) 「貿易ゲーム」について振り返る (4) 教師からの国際社会に対する否定的な問いかけに対する答えを考える 「世界で皆が平等なんてありえるのかな？」 (5) このままのペースで開発を続けてしまった場合、地球が持続不可能であることを知る (6) 画像や動画を通して、世界が相互依存の関係であることを知る (7) 現状を変えるために世界が協力して達成を目指す目標として、SDGsがあることを知る	・スライド資料（1時限目に用いたものと同様） ・貿易ゲームのフロー ・世界が相互依存していることを示す画像や動画 ・SDGsのゴールアイコン
4 本時	「Think globally, act locally, change personally」 ・身近に、SDGs達成のためにできることがあることを体験的に理解する ・SDGs達成のために、今の自分達にできることを考え、行動目標を設定する	(1) SDGsの概要について知る ・マッチングアクティビティ ・グループでディスカッション ・国連広報センターのスライド資料 (2) フォトランゲージを通して、身近にSDGsに関連していることを知る (3) SDGsについて、自分に関連させて考える (4) SDGsに関連して、グループでの行動目標を考える (5) SDGsに関連して、自分なりの行動目標を考える (6) 全4時間の授業の振り返りを行う	・SDGsの番号・絵が載っている紙と説明が書かれた紙【資料4】 ・スライド資料 ・ワークシート ・ひとこと多い張り紙【参考文献】
事後	「学びを振り返ろう」 ・【教師】生徒の変化を読み取る	(1) 開発教育(国際教育／国際理解教育)に関するアンケートに答える	・開発教育に関するアンケート(Post)【資料1】

【5】 本時の展開

過程時間	学習活動	指導上の留意点（支援）	資料（教材）
復習	(1) 本時の目標と学習内容を知る。 (2) スリランカに関する基本情報について振り返る。 ・前時と同じ班で行う。 ・話し合いながら、前時の内容を思い出す。 (3)「貿易ゲーム」について振り返る。 ・前時と同じ班で行う。	・教師からの「どう感じた?」「なにか困ったことは?」などの投げかけを行うことで、班での話し合いを活性化させる。	・スライド資料（1時限目に用いたものと同様） ・貿易ゲームのフロー

	<ul style="list-style-type: none"> ・「①最初に渡された封筒の中身②作業をしていて感じたこと③実生活に置き換えると」の3点に絞って振り返る。 ・前時の終わりに自分たちが行った振り返りを聞き、先進国・発展途上国双方が不平等感を抱えていることを知る。 <p>(4) 教師からの国際社会に対する否定的な問いかけに対する答えを考える。</p> <p>(5) このままのペースで開発を続けてしまった場合、地球が持続不可能であることを知る。</p> <p>(6) 画像や動画を通して、世界が相互依存の関係であることを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本の政府開発援助の活用例の動画 ・途上国から日本が輸入している物の画像 →お好み焼きの食材データを例示 ・東日本大震災の際の諸外国からの支援動画 ・西日本豪雨の際の諸外国からの支援画像 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の終わりに生徒自らが振り返った内容から、発展途上国の「封筒の中身が違いすぎて不平等だ。」や先進国の「資源が乏しかった。平等にすべきだ。」という不満や、「資源や道具を平等にすれば良い。」「お金を平等に振り分ければ良い。」という意見・感想があったことを伝え、それが実生活の中に置き換えることのような状況になるのかを考える。 ・「世界で皆が平等なんてありえるのかな？」という問いかけを行う。 	
<p>導入</p>	<p>(7) 現状を変えるために世界が協力して達成を目指す目標として、SDGsがあることを知る。</p> <p>(8) SDGsの概要について知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マッチングアクティビティ ・グループでディスカッション ・国連広報センターのスライド資料 <p>(9) フォトランゲージを通して、身近にSDGsに関連していることがあることを知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちが今夏に体験した西日本豪雨の際の途上国を含む世界からの支援の画像などを見ることで、世界が相互に関連しあっているということを感じられるようにする。 ・全員が活動に参加できるように声掛けする。 ・パワーポイントで写真を投影して、グループでディスカッションしながら進める。 ・スリランカの写真と、日本の身近な光景の写真を投影する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・世界が相互依存していることを示す画像や動画 ・SDGsのゴールアイコン ・SDGsの番号・絵が載っている紙と説明が書かれた紙 ・スライド資料

<p>まとめ</p>	<p>(10) SDGs について、自分に関連させて考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ SDGs の 17 のゴールのうち、どれが若者にとって一番大事だと思うか班でディスカッションする。 ・ ギャラリーウォークを用いて、グループ間で説明したり説明を聞いたりして、SDGs と自分たちとの関連について考える。 <p>(11) SDGs に関連して、グループでの行動目標を考える。</p> <p>★時間の都合で、(11) の活動は実践内に行うことが出来なかった。</p> <p>(12) SDGs に関連して、自分なりの行動目標を考える。</p> <p>(13) 全4時間の授業の振り返りを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「大事」という言葉の意味に注目させ、「取り組みやすさ」や「早急に取り組むべき問題」など、どの視点が重要かを班で議論させる。 ・ SDGs 普及ツールである“ひとこと多い張り紙”の“ひとこと”の部分、誰にとっても分かりやすく、やってみようかと思える文言に書き換えてみる。 ・ 教室内に張り出し、良いなと思ったものに一人一票投票する。 ・ 投票で上位になったものは、ラミネートして実際に学校内に張り出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワークシート ・ ひとこと多い張り紙 ・ 開発教育に関するアンケート (Post) 【資料1】
------------	--	---	--

【授業実践の様子】



最初にルールの確認



作戦会議



世界銀行に売り込み中



役割分担して作業



ゲームの後の協議



協議結果を全体に報告

★3限目（貿易ゲームの振り返り）



話し合いながら前時の復習



貿易ゲームを詳細に振り返り



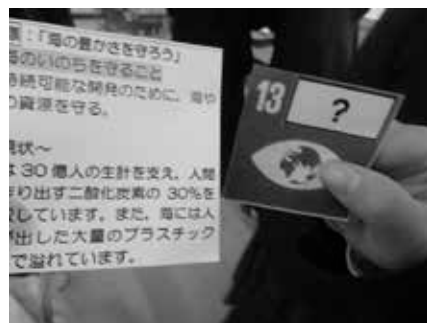
感じたことを発表



全員立ち上がって活動



ペアを見つけて確認中



見比べてマッチング



SDGsのロゴとその説明について、
班員全員で確認中



「若者にとって大事なゴールは」
について納得するまで協議中



ギャラリーウォークで他班の
意見を聞き、説明します

【6】本時の振り返り

<教師>

SDGsの内容を概観するとともに、自分なりの行動目標を設定してこれからの生活に生かして欲しいという思いで授業を行ったが、指導技術の無さで時間が足りずに計画していた最後の活動（ひとこと多い張り紙の目標を自分なりに考える）まで行うことが出来なかった。最後まで活動を行うことができれば、生徒はより国際協力について考えることができたかもしれない。

しかしながら、一方向の講義的な授業にならないように注意したり、日本の非支援国としての一面を見せたりするを通して、多くの生徒はSDGsを「自分ごと」と考え、全ての活動に積極的に取り組んでいたように見えた。グループで考えたことをについて、個人の考えを見取るためにPostアンケートで「SDGsの17の目標で、あなたが特に達成したい、達成すべきだと思う目標は何番か」という質問を設けたが、生徒によって目標としているゴールとその理由が本当に様々であった。様々な課題はあったが、国際協力について考えるきっかけとなるという意味においては、非常に意義のある授業であったように感じている。

【7】 単元を通した児童生徒の反応／変化

全4時間という限られた時間だったが、もともと国際協力の必要性を感じていた生徒たちが具体的にどのような行動していこうかと考える始めた様子が見て取れた。全4時間の授業を終えた生徒の感想には以下のようなものがあった。

<生徒の感想>（※Postアンケートより抜粋）

- ・世界でSDGsを達成できるように頑張りたいです。
- ・世界で起きていることを直に学べて良い経験になりました。次もしてみたいな。
- ・この生活がどれだけの支えによって成り立っているか良く分かった。協力という言葉の重みをしかと受け取った。
- ・国は違っても、この小さい地球にいる以上、助け合わないと持続可能な社会など実現できないと感じた。
- ・風邪を予防するように、ゴミを捨てないように予防すればもっと良い社会ができるのに。
- ・SDGsとは何を表しているのか、そして何個あるのか分かりました。
- ・国同士が協力しあうのは大事だと感じた。
- ・日本人は色んな国を助けているのは知っていたけど、違う国と助け合っているとは思いませんでした。
- ・国と国の格差を知った。戦争なき世界にして欲しい。助け合えば良いと思った。
- ・世界がどんな目標を立てているか分かった。
- ・日本も海外も色んな所で助け合って生活しているということが分かった。
- ・世界中で協力して生きていきたい。全ての人が幸せだと思える世界になったら良いな。
- ・日本はとても恵まれている。困っている国を助けたい。
- ・助け合うことの大切さを知って、これからの生活習慣が変わりそうです。

【単元を通し変容した生徒の態度や学習意欲】

<自分さえ良ければ…は良くない！>

「持続可能な社会」の担い手として、生徒には「自分さえ、日本さえ幸せであれば良い」という考えではなく、皆で協力して助け合っていこうという姿勢を持って欲しかった。全4時間の授業が終わった後のPostアンケートに生徒はどんなことを書くのだろうとワクワクしながら少し不安な気持ちもあったが、生徒は私が期待していた以上に「持続可能な社会」の担い手として成長してくれた。感想には、協力の必要性や助け合いなどに言及している生徒も多く、それに加えて途上国のことについて記述している生徒も数名いた。日頃は限られた人間関係の中で生活している生徒も、この実践の中で少しずつ世界に向けて視線が向かっていると感じた。

<驚いた！休憩中・授業後の生徒の様子>

何よりも驚いたのは、授業外の生徒の様子である。実は、2時限目の授業は私の指導力の未熟さから授業時間を大幅に超過してしまった。それにも関わらず、生徒は集中を切らさず一生懸命に活動に取り組んでくれた。また、ただ楽しむだけでなくそれぞれの活動の意義やメッセージを考えながら真摯に取り組んでいた。

また、休み時間も「貿易ゲーム」や「SDGs」の話をしたり、欠席していた生徒に授業内容を伝えたりと、日頃あまり見られない様子が多く見られた。自分の興味のある部活やゲームの話ではなく、国際協力についての話を日常の中でしているというところに、非常に驚くとともに、生徒の中で何かが変わり始めているのかなと確信した瞬間でもあった。授業の次の日になっても、「貿易ゲーム」や「スリランカ」「SDGs」について友人と語り合っている生徒を数人見かけることができた。

【途上国・異文化への意識の変容】

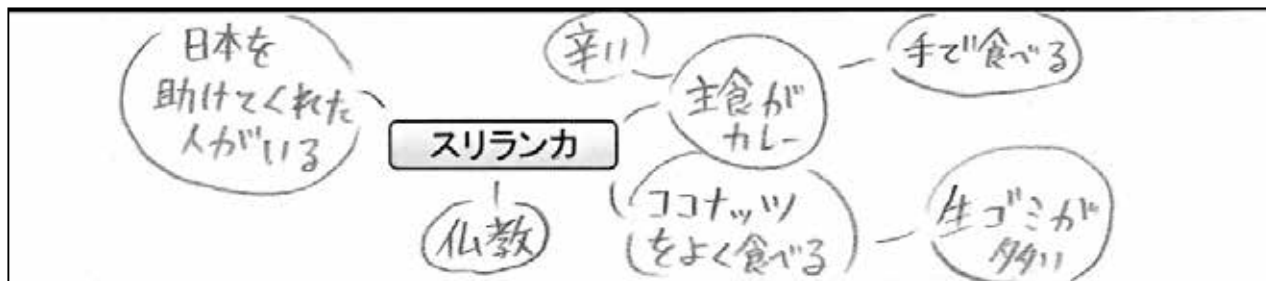
<授業前>

「生徒観」を参照のこと

<授業後>

<スリランカ>

スリランカの基本情報について、国名を聞いたことがある生徒は約80%→約92%に増加、スリランカの正しい国旗を答えることが出来た生徒は35%→約79%へ増加、スリランカの場所を正確に答えた生徒は11%→約67%へ増加、スリランカの特産品を答えることができた生徒は0%→75%と大幅に増加した。全てのスリランカに関する質問項目で数値の増加が見られたことから、スリランカという異国に対する興味・関心は高まったと考えられる。また、スリランカに関するアイディアマップも、Preアンケートでは無記入の生徒がPostアンケートでは多くの情報を書き込むことが出来ていた。



(生徒のアイディアマップの例：Postアンケートより抜粋)

- ・ただし、発展途上国のイメージを聞いた質問に答えられた生徒は多くなく、スリランカという国は知ることが出来たが、それが発展途上国と結びついていない生徒が多いことが予想される。教師が発展途上国と先進国の違いを伝える場面はもう少し明示的に伝えても良かったかもしれない。
- ・アイディアマップの部分には、スリランカ=森崎先生が行った国と連想している生徒も多かった。自分が知っている人が行った国というだけで、親近感の抱き具合にかなり違いがあると感じた。

<開発教育>

- ・「SDGsという言葉を知ったことがある」という質問項目に対して「はい」と答えた生徒の割合は0%→71%と大幅に増加した。マッチングアクティビティや生徒同士のディスカッション、スリランカや身近な生活の写真を用いたフォトランゲージを通して、生徒は世界に興味を持ち、SDGsという全世界共通の目標を切り口にして国際協力していこうという態度が育成できたと考えられる。
- ・「海外の人が困っていたら助ける」という項目に対する生徒の肯定的な解答は、Preアンケートでは残念ながら35%という低い数値であった。同じ日本人であれば助けるが、外国人を助けるとなるとハードルが上がるようであった。しかし、全4時間の実践を経たPostアンケートでは約60%と数値が増加した。まだまだ全員が助けようと思っているわけではないが、大きな進歩である。

[8] 自己評価

1. 苦労した点

①カリキュラム上の難しさ

決められたカリキュラムの中にどのように国際協力に関する授業を組み込んでいくかを議論していく必要がある。校務分掌で国際協力部があるような学校は良いが、本校のように学年裁量に任せられているような学校では、教務部や学年団と連携を取りながらどのようにして時間を確保していくのか考えていく必要がある。

②準備/準備時間の確保

特に「貿易ゲーム」は準備がかなり大変だった。学校として「貿易ゲーム」セットを用意しておき、どの学年もが必要な時に使えるようにしておくことより授業がしやすくなると考えられる。

2. 改善点

<2限>

- ・貿易ゲームの時間を途中で延長したが、班によっては時間の最後に品物を売ろうという作戦を立てているとこ

ろもあった。制限時間は最初に決めた時間で最後まで行うべきであった。

- ・国という意識を持たせる工夫があればもっと良かった。グループでただただ楽しんでいるというだけになって
いる生徒もいるかも知れない
- ・国の中で役割をもっと明確に決めても良かったかもしれない。そうすることで国の意識をもたせる。
- ・最後のA～Fの国がどの国を示しているのかというところはもっと丁寧に扱って良い。なぜAがその国と考
えるのかということ、入っているものなど視覚的に表すなどして予想させるべきだった。また、全体に示すこ
とで、自分以外の班のことも考えるきっかけになるので。
- ・生徒がどのようなことを考えているのかという変化がわかる工夫があればよかった。→活動の途中で第一次振
り返りを作っても良かった。

<3限>

- ・前時の振り返りに時間を掛けすぎてしまった。生徒が記入したワークシートを見てさっと振り返りを行う、正
答率の低かった問題について全員で確認するなどの時短が必要であった。
- ・発展途上国と先進国の違いをもう少し明示的に教えても良かった。また、語句を導入した後でスリランカ以外
の途上国の写真を見せるなど、生徒のイメージを膨らませやすい方法を考えておくと生徒はよりわかりやす
かったと考えられる。

<全体を通して>

①教員の協力体制

今回の授業では、自分自身の不手際で授業内容を直前に学年団の先生に伝えて、なかなか議論する機会を設け
ることが出来なかった。事前協議を重ね、教員間の役割分担を明確化することで教員をより上手に巻き込んでい
ければ良かった。

②生徒に見せる情報の選択

多くの伝えたいことがあったため、生徒に画像や動画を含む多くの情報を見せることになる。見せること自体
に問題はないが、情報を選ぶ際にはなぜその写真を選ぶのか、他の写真ではだめなのかをもう少し吟味すべき
だった。今回の実践でも、あとから「こっこの写真のほうが良かった」と思う場面が何度かあった。国際協力に
関する写真や動画フォルダなどを学校でシェアしておき、どのような場面でこの写真や動画を使うということを
事前に決められれば改善できたかもしれない。

③個別の生徒の見取り

多くの生徒がいる学級で授業を行う場合、個別の生徒の評価方法を考えておく必要がある。今回はアンケート
という方法を用いたが、そのアンケートは評価したいことをきちんと評価できるようになっているかなどを事前
に協議しておく必要があるだろう。また、今回のアンケートのように書く記述量が多いと生徒もかなり疲れるの
で、5件法などの簡易な方法を多く利用するなどの改善ができるだろう。

3. 成果が出た点

①他の教員との協力体制

国際協力に関して他の教員と協力して実践が出来たことは大きな成果である。改善点にも書いているように
もう少し時間をかけて協議できれば良かったが、役割分担をしながら「貿易ゲーム」を運営するなど、良い協
力体制を築くことが出来た。

②「持続可能な社会の担い手」を育成するきっかけとしての4時間

この4時間で全てできたわけではないが、生徒が自分たちの住む日本のことだけでなく、世界のこと、国
際協力のことについて考えるきっかけには間違いなくなっただろう。ただ一方的に教えるだけではなく、身
近な写真を見せたり問いかけをしたりしながら生徒に「自分ごと」として考えられるように終始徹底してい
たことが良かったと考えられる。これから、生徒がさらに国際社会について考えていけるように実践を継続し
ていく必要がある。

4. 備考

実践の最後に生徒に伝えた“Think globally、 act locally、 change personally”という言葉は、今回のスリランカ訪問から授業実践に至るまでの自分に当てはまると思う。今まで漠然と考えていた「国際協力」について、スリランカに実際に行き行って現状を知り、考え、それを自分が担当している生徒に伝えるということで国際協力に貢献していく、またその実践を通して自分自身が国際協力についてより深く考え行動していく事ができると今まさに感じている。今回は4時間という限られた時間であったが、これから先もこのような実践を継続していくことで「持続可能な社会づくりの担い手」を育成していくとともに、自らも担い手として行動できるようにやっていきたいと思う。

今回の教師海外研修に快く送り出してくださった藤本寅肇校長を始めとする管理職の先生方、授業実践でフォローしてくださった1学年団の先生方、日本でもスリランカでもたくさん助けてくださったJICAの皆様、そして授業実践と一緒に世界について考えてくれた生徒に感謝したい。この研修に参加させていただきありがとうございました。

【参考資料】

<Webページ>

開発教育協会HP「新・貿易ゲーム—経済のグローバル化を考える」

<http://www.dear.or.jp/book/book01_tg.html> (参照2018/12/10)

外務省HP「世界いろいろ雑学ランキング」

<<https://www.mofa.go.jp/mofaj/kids/ranking/index.html>> (参照2018/12/10)

国際連合広報センターHP「SDGsを広めたい・教えたい方のための『虎の巻』(資料)パワーポイント資料」

<http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/>
(参照2018/12/10)

JANIC「SDGs理解促進ツール ひとつこと多い張り紙」

<<https://www.janic.org/world/sdgstool/>> (参照2018/12/10)

<書籍>

池田香代子(2008)『世界がもし100人の村だったら 総集編』マガジンハウス文庫。

一般社団法人 Think the Earth(2018)『未来を変える目標 SDGsアイデアブック』(非売品)

JICA中国(2016)『2015年度 教師海外研修(ラオス)国際理解教育実践報告書』JICA中国。

JICA中国(2017)『2016年度 教師海外研修(ラオス)国際理解教育実践報告書』JICA中国。

JICA中国(2018)『2017年度 教師海外研修(スリランカ)国際理解教育実践報告書』JICA中国。

デイビッド・ヒューム(2017)『貧しい人を助ける理由—遠くの子とあなたのつながり』日本評論社。

日能研(2017)『SDGs 国連 世界の未来を変えるための17の目標 2030年までのゴール』みくに出版。

文部科学省(2009)『高等学校学習指導要領解説 総合的な学習の時間編』海文堂出版株式会社。

【資料1】 開発教育に関するアンケート

<Preアンケート>

LP1 (開発教育) 2018/12/12

【Pre】国際教育アンケート

2学期終りのライフプラン1 (合計4時間) では、私達が住んでいる日本のことに加えて、日本以外の国、そして現在世界全体で取り組まれている取り組みについて学習していきます。学習前にあなたが知っていること・あなたが考えていることを確認するために、下記のアンケートに答えてください。ご協力よろしくお願いします。

1. 次の質問に答えてください。【選択肢】がある場合は、当てはまるものに○(マル)をつけてください。

① 今までスリランカという国名を聞いたことがある。 【はい・いいえ】

② スリランカは地図上のどのあたりか。○をつけてください。



③ スリランカの首都の名前は以下のどれか?
【スリ・ジャヤワルダナプラ・コッチ / コロンボ / 分からない!】

④ 以下のうち、スリランカの国旗はどれか?
ア  イ  ウ  エ 分からない!

⑤ スリランカの特産品を書いてください。 ()

⑥ スリランカの主食を書いてください。 ()

⑦ スリランカに関して1つイメージするとしたら何ですか?1つだけ書いてください。 ()

⑧ 日本に関してイメージすることを下の□にできるだけたくさん書いてください。

⑨ スリランカのことについて知っていることを、下のマインドマップにできるだけたくさん書いてください。

(例) 日本の場合→

スリランカ

2. 次の質問について、あなたの考えに当てはまる番号に○をつけ、理由を答えてください。
(理由がない場合は無理に書く必要はありません。特になしでOK。できる範囲で書いてください。)

1	2	3	4	5
全く当てはまらない——— 当てはまらない——— 分からない——— 当てはまる——— よく当てはまる				

① 日本のことが好きだ。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

② 日本は世界で一番良い国だと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

③ 海外(日本以外の国やその文化)に興味がある。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

④ 身近(家族や友達)な人が困っていたら助けたいと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

⑤ 日本人(身近な人以外)が困っていたら助けたいと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

⑥ 海外の人が困っていたら助けたいと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

⑦ 世界中の人々は、お互いに助け合うべきだと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

⑧ SDGsという言葉を聞いたことがある。 [1 2 3 4 5]

⑨ あなたの中学校時代に、国際協力について学んだことがある。
[ある人は、その内容を書いてください→]

4. あなたの全財産は10,000円です。あなたはこの度、世界中で貧困や自然災害、戦争などで困っている人々のために、国際協力機関に基金をすることになりました。あなたは全財産1,000円のうち、いくら国際協力機関に基金しますか?金額とその金額を募金する理由を書いてください。

金額: ()円
理由:

<Postアンケート>

LP1 (開発教育) 2018/12/20

【Post】国際教育アンケート

氏名()

国際協力に関するライフプラン1 (全4時間) の授業お疲れ様でした。学習後の振り返りとして、あなたが知っていること・あなたが考えていることを確認するために、下記のアンケートに答えてください。ご協力よろしくお願いします。

1. 次の質問に答えてください。【選択肢】がある場合は、当てはまるものに○(マル)をつけてください。

① 今までスリランカという国名を聞いたことがある。 【はい・いいえ】

② スリランカは地図上のどのあたりか。○をつけてください。



③ スリランカの首都の名前は以下のどれか?
【スリ・ジャヤワルダナプラ・コッチ / コロンボ / 分からない!】

④ 以下のうち、スリランカの国旗はどれか?
ア  イ  ウ  エ 分からない!

⑤ スリランカの特産品を書いてください。 ()

⑥ スリランカの主食を書いてください。 ()

⑦ スリランカに関して1つイメージするとしたら何ですか?1つだけ書いてください。 ()

⑧ 発展途上国に関してイメージすることはなんですか。

⑨ スリランカのことについて知っていることを、下のマインドマップにできるだけたくさん書いてください。

スリランカ

2. 次の質問について、あなたの考えに当てはまる番号に○をつけ、理由を答えてください。
(理由がない場合は無理に書く必要はありません。特になしでOK。できる範囲で書いてください。)

1	2	3	4	5
全く当てはまらない——— 当てはまらない——— 分からない——— 当てはまる——— よく当てはまる				

① 日本のことが好きだ。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

② 日本は世界で一番良い国だと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

③ 海外(日本以外の国やその文化)に興味がある。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

④ 海外の人が困っていたら助けたいと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

⑤ 世界中の人々は、お互いに助け合うべきだと思う。 [1 2 3 4 5]
理由→ ()

⑥ SDGsという言葉を聞いたことがある。 [1 2 3 4 5]

⑦ SDGsの17の目標の中で、あなたが特に達成したい、達成すべきと思う目標は何番ですか?
[1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17]

⑧ ⑦で答えた番号を選んだ理由を答えてください。
理由:

3. あなたの全財産は10,000円です。あなたはこの度、世界中で貧困や自然災害、戦争などで困っている人々のために、国際協力機関に基金をすることになりました。あなたは全財産1,000円のうち、いくら国際協力機関に基金しますか?金額とその金額を募金する理由を書いてください。

金額: ()円
理由:

4. 「国際協力なんてしなくてもいい」という意見に対して、国際協力に関する全4時間の授業で学んだこと、そしてあなた自身の考えを元にして反論してください。

5. 国際協力に関する授業を全4時間の授業を受けて、学んだこと、感じたこと、考えたこと、また感想などを気軽に書いてください。

【資料2】スリランカに関するクイズのスライド（抜粋：文化の20点まで掲載）

Quiz de Sri Lanka

～遠いようで近い国、スリランカを通して世界へ！～

文化	食べ物	言語・生活	スリランカで 出会った○○
10	10	10	10
20	20	20	20
30	30	30	30
40	40	40	40
50	50	50	50

問題 10

・スリランカの国旗に動物は一体なんですか？

解答

・ライオン

スリランカの国旗

問題 20

・実物問題

解答

・仏教
→国民の約70%が仏教徒なのです！！

世界遺産・仏教寺
...遠い場所から近所に訪れる
たくさんの方々、たくさんの方
が来られますね！！

【資料3】「貿易ゲーム」の封筒の中身

国名	リスト
A (フィリピン)	紙 (4)、定規 (1)、お札 (3)
B (インド)	紙 (10)、分度器 (1)、お札 (4)
C (日本)	はさみ (2)、定規 (2)、コンパス (2)、三角定規 (1)、分度器 (1)、お札 (10)、鉛筆 (2)
D (アメリカ)	はさみ (3)、定規 (3)、コンパス (1)、三角定規 (1)、分度器 (1)、紙 (4)、お札 (10)、鉛筆 (2)
E (スリランカ)	紙 (4)、お札 (3)、鉛筆 (1)
F (中国)	紙 (10)、定規 (1)、お札 (6)

【資料4】フォトランゲージのスライド資料（抜粋）

